

2022 年度東京海洋大学海洋生命科学部食品生産科学科 編入学試験「小論文」問題用紙（1/3）

※ 解答は解答用紙の所定の欄に記入すること
問題用紙は持ち帰らないこと

受験番号	氏名

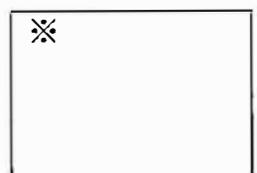
第1問

次ページの図1および2は、それぞれ「女性就業率と平日の男女別家事時間の推移」および「食料支出額に占める外食等の支出額の割合の変化」について示したものである。これについて、以下の間に答えなさい。それぞれの解答は解答欄に収まる範囲で記載すること。

問1 図1から近年の日本人のライフスタイルにどのような変化が起こっていると考えられるか答えなさい。

問2 図1と図2を関連付けながら、近年の日本の食生活の変化について、どのようなことが起こっていると考えられるか答えなさい。

問3 新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年あたりから日本人のライフスタイルは大きく変化している。このことを踏まえ、外食、魚介類、および調理食品の支出はどのように変化していくと考えられるかについて、その理由とともに、あなたの考え方を答えなさい。



2022 年度東京海洋大学海洋生命科学部食品生産科学科 編入学試験「小論文」問題用紙 (2/3)

※ 解答は解答用紙の所定の欄に記入すること
問題用紙は持ち帰らないこと

受験番号	氏名

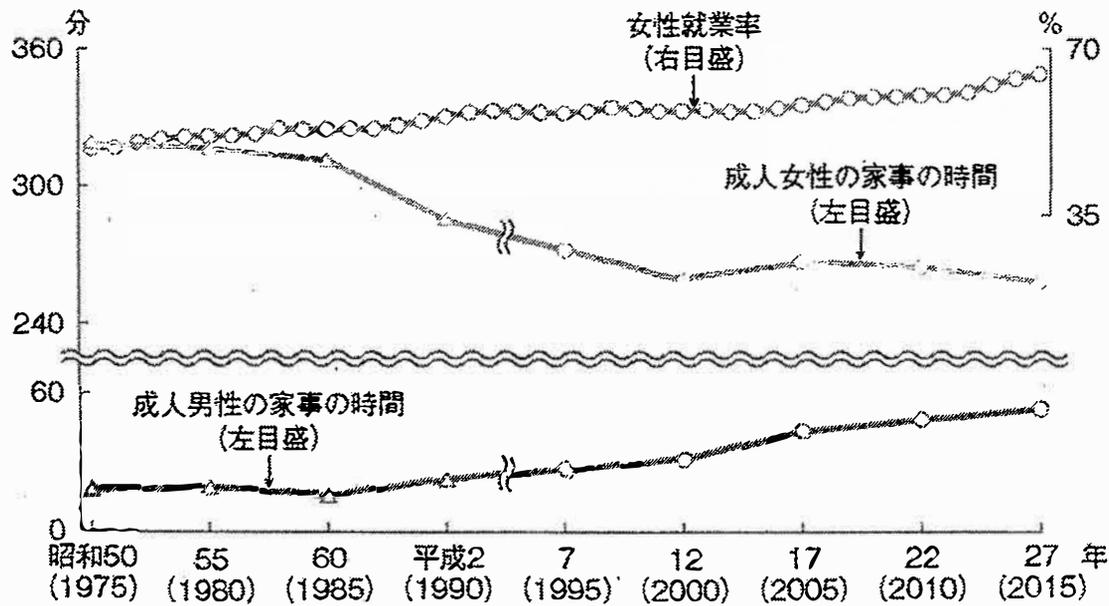


図1 女性就業率と平日の男女別家事時間の推移 (令和元年度水産白書より抜粋)

資料：総務省「労働力調査」(女性就業率)及びNHK放送文化研究所「2015年国民生活時間調査報告書」(家事の時間)に基づき水産庁で作成。注：1) 女性就業率は15～64歳の女性の就業者を15～64歳の女性の人口で除して求めた。2) 家事の時間は、平成7(1995)年に調査方式を変更したため、連続しない。

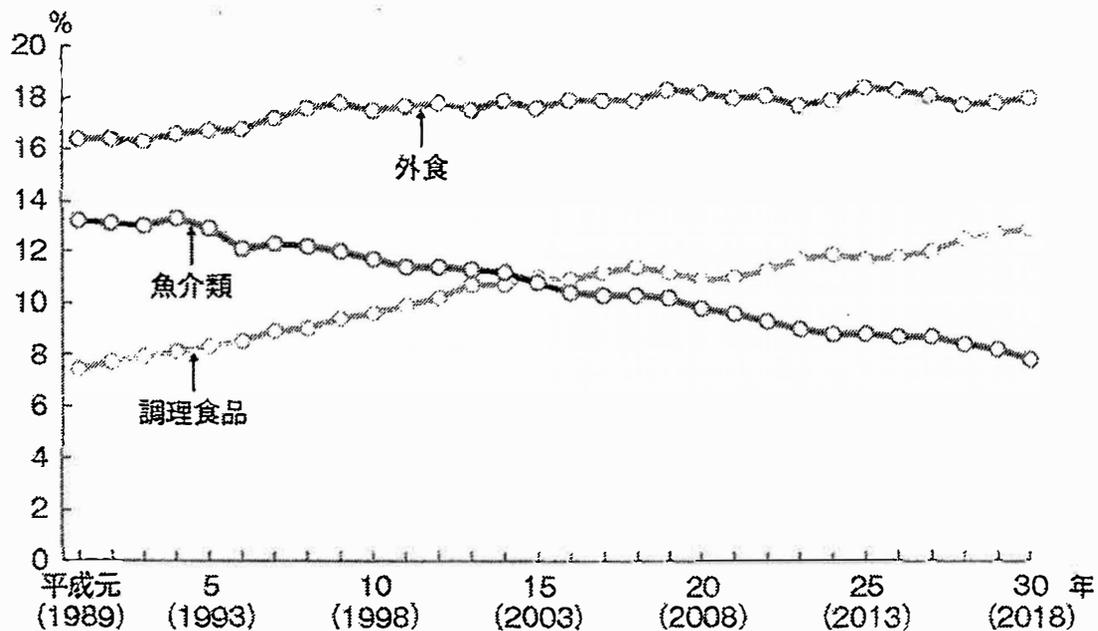


図2 食料支出額に占める外食等の支出額の割合の変化 (令和元年度水産白書より抜粋)

資料：総務省「家計調査」に基づき水産庁で作成。注：対象は二人以上の世帯(平成11(1999)年以前は、農林漁家世帯を除く。)

※

2022 年度東京海洋大学海洋生命科学部食品生産科学科 編入学試験「小論文」問題用紙 (3/3)

※ 解答は解答用紙の所定の欄に記入すること
問題用紙は持ち帰らないこと

受験番号	氏名

第2問

以下の文を読み、下記の問に答えなさい。それぞれの解答は解答欄に収まる範囲で記載すること。

新型コロナウイルス感染症の影響は、多くの経済活動に影響を及ぼしている。水産業関連にも経済活動の停止や抑制によって甚大な影響が出ている。漁業・養殖業従事者及び水産加工・流通・小売・外食などを含めた水産関連事業者へのアンケートによると、2020年5月29日から7月8日までで前年同月に比べて売り上げ減を感じているとの結果が出た（総合地球環境研究所調べ、2020年7月22日プレスリリース）。またこの調べによると、①商品や製品が消費者に届くまでの一連の生産・流通プロセスである、サプライチェーンに問題があるとしており、水産関連事業者らは自主的な対応策として自主休漁やネット通販などに取り組んでいることが明らかとなった。

一方で、2015年に「②持続可能な開発目標（SDGs）」が国連全会一致で採択された。SDGsは深刻化する環境課題などを17の目標、169の項目に分けた、全世界が取り組む行動指針となるものである。このうち目標12番「つくる責任、つかう責任」では、持続可能な消費と生産のパターンと市場を確保することが、目標14番「海の豊かさを守ろう」では、海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用することが定められている。

問1 下線部①にあるサプライチェーンの問題として、水産業における問題にはどのようなものが考えられるか。生産、加工、流通など水産業特有のそれぞれの側面から問題点を挙げ、コロナ禍で行き場を失った魚の商品化など、新しい生活様式に対応したサプライチェーンの構築にはどのような対策や継続的な事業のサポートをすべきかあなたの考えを述べなさい。

問2 問1で示した新しい生活様式に対応したサプライチェーンの構築に関連して、あなたが考える漁業、養殖業を含む日本の水産業の持続可能性を改善させるプロジェクトを下線部②のSDGsにある目標12番および14番を踏まえて述べなさい。

※
